

適期田植えの育苗管理

■ 温度管理やかん水に注意し、軟弱徒長苗を防ぎましょう ■

搬入直後のかん水は必ず行いましょう！

1. 緑化期の管理(ヤケ苗防止対策)

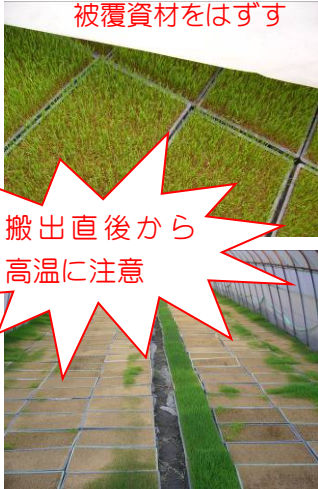
- 出芽揃い(1cm程度)を確認してからハウスへ搬入する。
- 搬入時に覆土を落ち着かせる程度に必ずかん水する。
- 搬入後は温度の上がない太陽シートなどで遮光する。

【保温の必要はほとんどない】



緑化していれば、

被覆資材をはずす



搬出直後から
高温に注意

- 外気温、日射量があがって、ハウス内の温度が30℃を超えるような場合、たとえ緑化中であっても換気(太陽の反対側のビニールを開放)し、ヤケ苗の発生を防止しましょう。
- 又、ハウス内が高温になると病気の発生が懸念され、軟弱徒長苗になります。逆に外気温が5℃以下の低温が予想される場合は保温に努めましょう。
- 緑化完了後は、すみやかに被覆資材を取り除き徒長しないようにしましょう。
- 昼間のハウス内温度は20℃~30℃、夜間は10℃~15℃を目安にしましょう。

2. 硬化期の管理(草丈よりも根張り かん水はひかえめ 換気は多めに！)

コシヒカリの育苗は苗丈の伸びが早く育苗日数が短くなるため、根量が少なくマット強度が極端に弱くなる傾向があります。苗丈の伸びをなるべく抑え根量を増やすため、かん水を控えめにし、根の張りを促進しましょう。



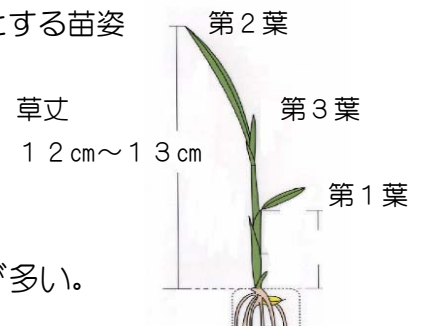
苗は水を欲しがりますが、水をやればやるほど地上部(草丈)は伸びるが、地下部(根の張り)は劣ってきます。

かん水は午前中に1回だけ十分に行い、午後、とくに夕方のかん水は、たとえしおれ始めても絶対にやらないで翌朝まで待つようにしましょう。

3. 植付時の稚苗の目安(葉齢2.0~2.5)

- ① 第3葉が2~2.5cmくらい出ている状態。
- ② 第1葉までが3.5~4cmを超えていない。
- ③ 腰(莖)が太くて幅広く(2mm以上あって)、丸みがあり、がっちりしている。
- ④ 種子根1本と周りの根がよく伸び、根は白くて太いものが多い。

目標とする苗姿



ハウスの後日は

雨風をしのぐだけ

- 硬化期の日中のハウス内温度は、10時頃には40℃~50℃まで上がることが多く、軟弱徒長苗を作らないためには、換気により温度を適正に保つことが要件となります。
- 一旦、上がったハウス内の温度は下がりにくくなります。遅くとも、朝8時頃までにはハウスを開けましょう。
- 硬化期になれば、保温をする必要はない。ハウスを全開にするなど、温度を下げることを徹底してください。

疎植 細植えによる過剰生育抑制

□ 植え付け本数は3~4本/株を目安に □

基肥量の適正化(基肥は少なめが善)

基肥窒素が多いと初期の分けつ確保は早く、茎数も多くなるので、その後強い中干しで生育を制御し、倒伏を避けるようにすることが大切です。しかし、中干しの時期は梅雨で、中干しがうまくできない年も多いのが実態です。そういう年は、穂肥を遅らすか、穂肥をやらない(施肥量を極端に減らす)等の方法になってしまいます。基肥一発肥料の場合は前記のような対応も出来ないなので施肥過剰に気を付けて品種に合せた適正な施肥量に心がけてください。

施肥量、栽植密度の再確認



□ 適期田植えの稲は、初期生育期が高温になり、地力窒素を吸収利用する割合が高まります。

□ 基肥を適正量施用することにより、適切な茎数を保ち、耐倒伏性も高まります。茎数の適正な稲は過剰分けつの稲よりも穂肥の効果が高くなるため、登熟も向上して秋まさりの稲になります。

5月中下旬田植えの標準基肥量(平坦地・山間地)

エコファーマーコシヒカリ		エコファーマー日本晴		
基肥一発タイプ		分施タイプ	基肥一発タイプ	分施タイプ
エココシヒカリ 033	エココシヒカリ 076	こだわり元肥 201	エコ日本晴 033	こだわり元肥 201
				
35~40 kg/10a	35~40 kg/10a	20~25 kg/10a	45~50 kg/10a	35~40 kg/10a

※ 基肥を一発肥料で基準より少ない施用量に設定した場合、穂肥量も減少することとなるので注意しましょう。分施タイプは穂肥が必要です。

疎植・細植え

細植えにする理由は、太いしっかりとした茎をつくるためです。太いしっかりした茎ができると、穂も大きくなり(大粒化)、倒伏にも強くなります。

植え付け本数の多い稲は、分けつが多くなり株がりっぱに見えますが、一本一本の茎が細く、穂は大きくなり小さくなります。また、目に見えて倒伏には弱くなります。とくに、平坦地では栽植密度を50株/坪以下(株間20cm)にし、1株当たりの有効茎歩合を高めましょう。

3~4本植えでも
欠株率は2%程度



携帯電話用メールサービス「あなたの携帯電話に営農情報をお届けします！」
稲作技術情報をよりタイムリーにお届けできるようメールサービス配信中です。アクセスは左のQRコードをお手持ちの携帯電話バーコードリーダーで読みとるか、232g3r@a01.hm-f.jp へ空メールを送信して登録ください。

登録は無料